

ひとりひとりひかる

きぼう

2009 1/1  
第55号

発行：かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147 : kasisato@f7.dion.ne.jp  
榎の木園 : kasiem@k3.dion.ne.jp 榎の木作業所 : kasisyo@k2.dion.ne.jp  
かしの木 ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/>



新年明けましておめでとうございます



会員の皆様方には、お元気で  
新年をお迎えのことと心からお  
喜び申し上げます  
皆様方の御支援を受け、かしの  
木の会もこの厳しい中、一歩前進  
して今年も地域の方々の協力を  
得て頑張っていこうと思いま  
すので、宜しくお願い申上げ  
ます。

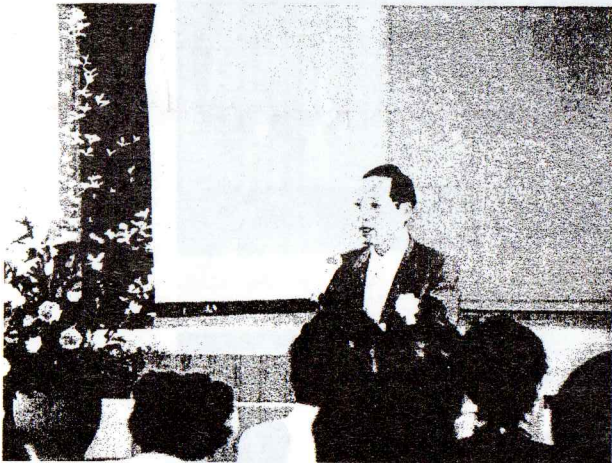
【55号きぼうの目次】

表紙・写真・目次	p. 1
福祉情報コーナー/フェスティバル	p. 3~5
かしの木の会コーナー①/イベント委員会	p. 6
かしの木の会コーナー②/研修委員会	p. 7
施設コーナー/G. H. C. はぎわら	p. 7
文芸コーナー/地域生活のススメ	p. 9
お知らせコーナー/行事予定など	p. 10



# 堀江会長新年の挨拶

皆さん、明けましておめでとうございます。  
平成18年に施行された障害者時理知支援法も、本年度で3年目を迎えます。3年目という第1回目の見直しの年であります。皆さんご存知のように、この法律はサービスの自己選択・自己決定、3障害の一元化、障害福祉サービスの規制緩和などの積極的な側面があります。しかし、一方では一律な応益負担、障害程度区分認定の一元化により、障害の種別ごとに厳密に対応できない判定基準の曖昧さや、これによって自己選択を標榜しながら受けられるサービスに規制が設けられています。



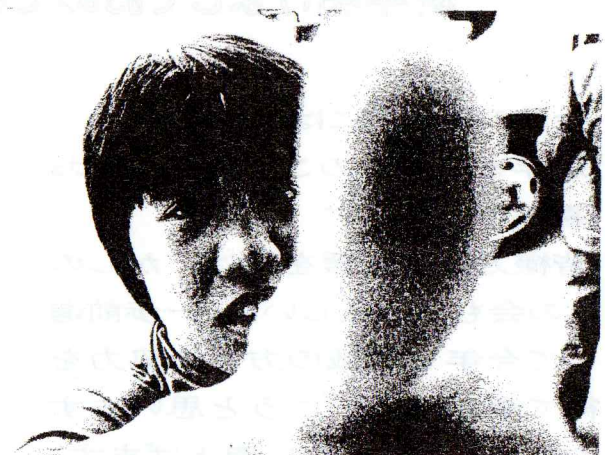
※こういう時こそ一層の団結をお願いします。

現在、政界においては、政権与党の自由民主党と公明党以外の野党は、全党一致で障害者自立支援法の廃止を唱えています。平成20年の新年において、福田内閣は自立支援法の抜本的見直しとは言いませんでした。7月になってようやく重点のみの抜本的見直しと言い直しています。また、介護保険との統合は前提としないと言っていますが、利用者の負担についても応能的性格を強めるとだけ言っています。本当に自立した生活に必要な障害者の所得保障のありかたについても、障

害福祉年金の引き上げを検討するといっていますが今のところ具体的にはなっていません。

その福田内閣が突然崩壊し、即席的な麻生内閣が新たに成立しました。同時に世界の同時的な大不況が急速にどん底の状態になってしまいました。しょうがい者を含む我々庶民の生活の維持すら益々不透明で不安定なものになってきています。政府は、解散総選挙の前に埋蔵金と称する莫大な裏金を蔵から出してきて、付け焼刃的な補正予算を組み、師走の寒空に社会から放り出された人たちなどの被救済者に対しとりあえず手を差し伸べようとしています。

このように見ていきますと、一昔前は福祉は聖域でありましたのに、今では経済状況によっては如何様にもいとも簡単に変えられていく分野であることが分かります。私たちは、自分たちの大切にしてきたしょうがいを持つ青年たちの自立的な地域生活実現への気持ちを、事ある度に持ち直し、そして行政や地域に向かって発信し続ける努力を惜しんではなりません。平成21年度もそれ以降の時代においても、かしの木は勿論のこと世のあらゆる弱者の救済と幸せな自立生活を願って止みません。



※ねえ、お願いだからちゃんと私たちの将来の生活のことを考えてね！

かしの木の会会長 堀江 昭夫



# 地域福祉コーナー

## 第9回かしの木 フェスティバルを終えて

フェスティバル当日は天候も良く、多くの一般来場者の方々にも足を運んでいただき、本当にありがとうございました。

「Win Bell Majorettes」さん、「のはな太鼓」さん、よさこい鳴子踊り「華龍」さん、修文女子高等学校 吹奏楽部さん、「カプセル ワゴン スクイジー」さんのご協力もあり、華々しいステージを作りあげることができました。また、近隣社会福祉施設・団体等14店舗の皆様、フリーマーケットの出店者の皆様にも最後まで会場を盛り上げていただきました。



多くの学校関係・地域のボランティアさんや会員さんの多大なるご協力もあり、駐車場整理、ステージ進行、模擬店運営、会場設営等、スムーズにフェスティバルが行えたこと、また一宮市、一宮市教育委員会、一宮市社会福祉協議会、尾西ボ

ランティア連絡会の後援を頂くことができたことを深く感謝しております。

今回のフェスティバルも第9回を無事終えることができ、多くの人々がこのフェスティバルを通じて、障害や年齢などに関わらずお互いに積極的に交流を深め、この地域の中で安心して暮らしていけるよう人の輪が広がって行く事のきっかけになれば幸いです。



今回のフェスティバルの企画・運営にあたり、多少不備等があったかとは思いますが、様々な形で多くの方々に支えていただきましたことに本当に感謝しております。今後も、このフェスティバルで得た出会いや気持ちが、次につながっていくように一層の努力をしていきたいと考えています。

平成20年11月吉日

第9回かしの木フェスティバル

実行委員長 龍田昌克



# 地域福祉コーナー

## 第9回かしの木フェスティバル



バザーは楽しいな



みんな一緒におどって



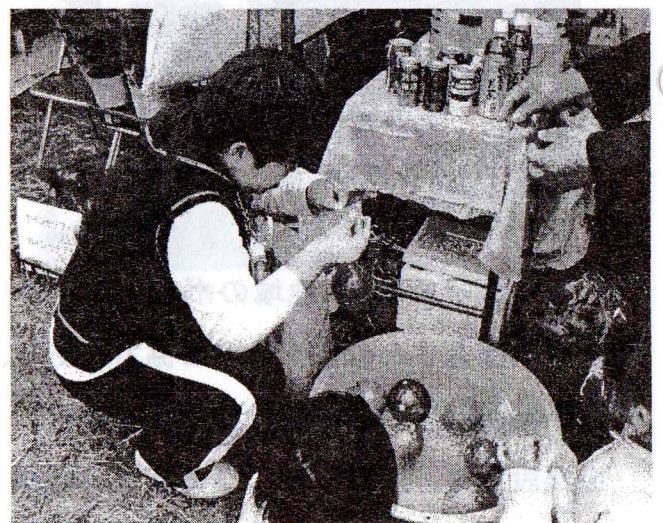
カレーおいしですね



おじょうずですね



楽しんでください



うまく釣れますか



## 第9回 かしの木フェスティバル 収支計算書

支 出		収 入	
公告宣伝費	93,975円	協賛金収入	357,000円
印刷製本費	0円	補助金収入	300,000円
郵送料	24,700円	模擬店収入	130,650円
看板制作費	0円	バザー収入	872,405円
会場設営費	47,642円	雑収入	115,000円
景品代	6,108円		
保険料	32,300円		
一般物品費	101,752円		
手数料	25,630円		
雑費	107,268円		
模擬店材料費	103,100円		
雑費	0円		
当期繰越金	297,175円		
合 計	2,116,185円	合 計	2,116,185円

ご協力いただいた協賛業者の皆様

青山歯科医院 浅井商店 浅野新聞店 味よし販売 石川空調 壺番屋  
一宮電話興行(株) 五城不動産 伊藤歯科 岩下行政書士事務所 大藤  
浦野設計 大野設備工業(株) 春日井豆腐店 (有)カワサキ 小信金箆  
菊屋米穀店 サンヨースポーツ (株)ジーケーエス 鈴木クリニック  
白木屋米穀店 タナカ商店 ツバメプロパン 服部食品 (有)橋本住設  
博覧堂 花のモウリ ハマダスポーツ企画 早善織物(株) 藤本好雄  
(株)フードサプライジャスコ 星月保険センター (有)マツモト園芸  
(株)マックスメイリン (株)松元ゴム製作所 マルエム商会 美吉建設  
ミートショップまつなが ミートブティック末広 三輪義博 よなかや  
八百光商店 フードセンターシゲ (敬称略・順不同) ありがとうございます。

今年度、フェスティバル終了後、広報誌「きぼう」の増刊号を発行することができませんでした。お詫びとともに、この「希望」55号にてご報告させていただきました。

かしの木フェスティバル実行委員会



# かしの木の会コーナー①

開催年月日

イベント委員会

2009年2月8日(日)

かしの木の会の音楽会もおかげさまで今年度で5回目とまります

場所

尾西グリーンプラザ講堂

今回も皆さんおなじみのフォークロック歌手の大島圭太さんをはじめナッキーさん innerlogic (インナーロジック) さん、今回初出演の vous (エブー) さん、mushroom (マッシュルーム) さんをむかえて、大いに盛り上げ楽しい音楽会で1日を楽しんで頂きたいと思います。

時間

12時30分開場

13時開演

※ 入場無料





## かしの木の会コーナー②

### 施設見学(おそ)を終えて

最近、かしの木の会では新しい事業が次々と立ち上がり、又ケアホームも増えてきました。新しく地域に入っていく際には、地域の方の御理解が必要だと思います。

研修委員会では、地域と上手に付き合っていくにはどうしたら良いのかを学習する為に、半田市の社会福祉法人「むそう」の活動を見学に行ってきました。

「むそう」では7年前に障害を持った人が働く店「喫茶なちゅう板山店」を開き、その後半田市内で、「中華茶房うんぶう」、「喫茶なちゅう有脇店」を運営したり、アジア雑貨や、自然養鶏で生まれた卵「なちゅらん」、きのこハウスで育てたきのこを売ったりと、ユニークな事業を開いてみえて、障害を持った人も適材適所で生き生きと働いていました。

地域の方々も喫茶店やラーメン店の常連となったり、卵やパンを買って下さったりして地域との交流はとてもうまくいっているようでした。

しかし、このように活発に事業を展開してみえる所でも、ケアホームなどを借りる際はやはり地域の反対があったりしてすんなりはいかないと話してみえました。

そこで、大掃除などの地域の行事に参加したり、お祭りなどでお店を出して地域の人に喜んでもらったりと、少しずつ関係を作りながら理解を深めていただいたそうです。

そして、今年3月には、半田駅前の商店街の空き店舗を活用した地域密着型モデル事業として、大判焼きと日本そばの店「孤坊庵」をオープンされました。残念ながら定休日のため見学できませんでしたが、ここでも障害を持った方が、

がんばっているようです。

行政や地元商店街を動かしたのは、これまでの活動の大きな成果です。

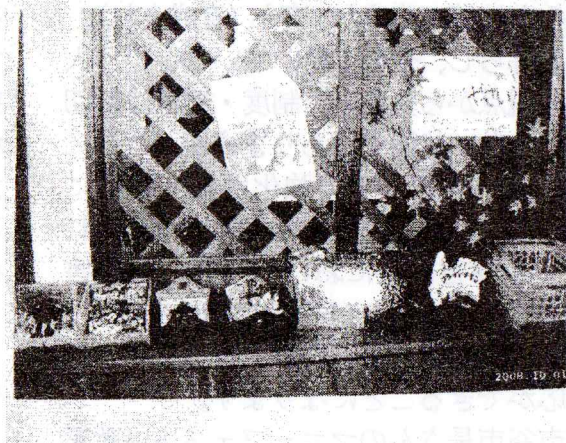
「むそう」のどこの事業所でも、利用者を支えている職員の方が、若くてしっかりしてみえて頼もしい限りでした。

また障害をもった人に向けたまなざしが温かく、いい関係が出来ているのがわかりました。

そして地域に理解をしていただく為には、少しずつ時間をかけてというのが、王道のようだと思います。



むそうパン厨房



アートスクエア内売店

研修委員会 道家



## 福祉情報コーナー

### 一宮市療育サポートプラザ 事業(仮称)が始まります。

新しい年を迎え、こころ新たに致しております。今年には障害者自立支援法が施行されて早3年が経過し、制度見直しが図られます。一宮市や稲沢市においても第2期障害福祉計画策定に向け、策定委員会がもたれ、市民意見提出制度により意見を募っています。一宮市の場合は1月14日までとなっていますのでぜひとも発言し、行政ともども協働(コラボレーション)で歩む時代へ進めたいと願っています。

第2期障害福祉計画の一宮市の3つの戦略の第2番目には「療育サポート体制の強化」が上げられています。背景として、「乳幼児期における疾病や障害の早期発見、早期訓練・療育は、機能の改善、コミュニケーション・社会性の発達に重要」と捉え、取り組みとして「市福祉課・保育課・子育て支援課、保健所、児童相談所、児童デイサービス事業所、市内小中学校・特別支援学校、母子通園事業、知的障害児通園事業、療育サポートプラザ」のネットワークの強化に努めますとあります。

そもそも地域で生まれ、育ち(育成され)、働くなど暮らし、やがて老いていくという人の生涯の観点から見ると、制度・施策は細切れで繋がらない状況ではありますが、ここに来て福祉ネットワークの強化が重点戦略に掲げられました。これまで県主導で進められてきました障害福祉においても新しい障害者自立支援法においては、その第2条にて、市町村等の責務が明確にされ、顔を見てチームで対応ができることとなります。

一宮市谷市長さんのマニフェスト(政策公約)推進状況報告(公報)に、旧和楽荘の福祉活用が載りました。障害福祉への一宮市の新たな政策に大変感謝しています。「一宮市が保有する社会資源の効率的な活用及び障害者福祉の増進を図る再利用計画」は、発達障害者支援法施行及び障害者自立支援法

施行を具体的に進める市の取り組みとして関係者の熱意や願いが熟して来た時期だと思っています。

昨年9月26日のかしの木の会全体会で報告させていただきましたが、一宮市療育サポートプラザ事業(仮称)は、①一宮市療育サポートプラザ事業(市委託事業)、②部屋の貸し出し事業(市委託事業)、③障害者の日中活動(就労継続・生活介護)事業、④その他、の事業を実施して行きます。

①の発達障害は当法人としましては新たな専門的な事業になります。③では、喫茶や雑貨などしょうがいのある人が働く店舗事業を実施します。園庭は小山のある芝生ひろばになります。この新たな時代への障害福祉事業においては、「市民との交流」をコンセプトに展開していきたいと願っています。

昨年10月29日の地元北丹町の住民の皆さんへの説明会でもご理解を得、日頃より話し合いながら進めて下さいと励まされました。現在、改修工事が急ピッチに進められ、2月15日までに完了する予定になっています。整備に当たって、予算上断念した工事がありません。キャノピー(雨天用通路アーチ)、南玄関両引戸の自動化、外壁の塗装等々です。これらのことについては、保護者を中心にした市民福祉団体等よりご寄付を頂けることになりました。かしの木の会、麦の会、てのひらの会の3団体より600万円もの寄付になります。また、一宮市より芝生整備などの追加助成をいただくことになっています。紙面をお借りしまして、改めて感謝申し上げます。このように、多くの期待(委託)を受けていることを肝に銘じて、スタートして行きたいと思っています。

「障害のある人もない人も、ともに地域で生き生きと安心して暮らせる街を創っていくことは、市民みんなの願い」と言えます。人と人が繋がりがあって、豊かな近未来社会を予想しながら、牛のごとく一步一步、歩んで行きたいと思えます。今後ともご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

社会福祉法人 樫の木福祉会

理事長 岡田 春雄



# 文芸コーナー

## 「地域生活のススメ」のすすめ

平成20年11月23日、  
稲沢市祖父江町体育館に  
て、愛知県障害者相談支援



スーパーバイザーの「山田優」さんの講演会がありました。山田優さんは、東浦町にある社会福祉法人「愛光園」の入所更生施設「まどか」の施設長を経て、知多地域障害者生活支援センター「らいふ」の所長を歴任。そして、長野県西駒郷地域生活支援センター所長に迎えられて、その西駒郷の地域生活移行を行われた方です。ライフワークとしての「地域生活移行推進」を『共に生きる！地域生活のススメ』と題して、稲沢市の地域自立支援協議会の活性化も含めて講演をしてもらいました。稲沢市福祉保健部がこのような大きな講演会を催したことは、過去に例をみないそうです。

障害を持たれた方や家族の方、障害者の団体の方、事業者の方々、山田さんの人柄と話術にも惹かれて、200名を越える多くの方が、改めて『自分らしく、この町で暮らすために』何が必要かを学びました。

その山田優さんが、「地域生活のススメ」西駒郷の地域生活移行にかかわって という本を出しておられます。この本は、福岡寿さんとの共著で、福岡さんは、北信圏域障害者支援センターの事業から、自立支援協議会、ケア会議の大切さ、電話一本で集まれる支援体制を説いてみえます。時代は、「固定電話」から「携帯電話」へ変わった、福祉も臨機応変に対応でき

るように、市町村の行政も事業者も変革していかないといけないと言ってみえます。

また、山田さんは西駒郷の地域生活の移行を本人主体の考え方で行うべきで、そのようにしていた経験を書いてみえます。いくら、県の考えや自立支援法の考えがあっても、地域移行を悩みながら、チャレンジしていくのは、障害を持たれた本人で、その方にいかに寄り添っていくかが課題であると。いちばん大切なのは「聴く」こと。「気持ち、考えを本人に聴かずして始まらないと・・・」

そのとおりですね。なにか置き忘れてきたものがあります。・・・それが、今の福祉かもしれません。法律、財政、施設、親御さんの意向、それより先に本人の意向でしょう！ あらためて、福祉の原点を教えられたようです。

山田さんと福岡さんは、今から6年も前に「コーディネーターがひらく地域社会」で共著されました。その中には、ミスター自立支援協議会の中島秀雄さんや、大分県別府市の地域活動センター「ほっと」の田北光洋さんも参加しています。そうそうたるメンバーですね。コーディネーターの仕事の大切さや、調整会議(個別支援会議)の必要性が、ひしひしと伝わってくる内容でした。

知多地域障害者生活支援センター「らいふ」の山田さんの活動は、「コーディネーターがひらく地域社会」で、西駒郷地域生活支援センターでの活動は「地域生活のススメ」で、勉強できます。お時間がある方は、お読みになられたらいかがですか。特に、稲沢市の講演会に出席できなかった方は・・・ (只井 秀明)

「地域生活のススメ」 Sプランニング発行  
「コーディネーターがひらく地域社会」 ぶどう社発行



# お知らせコーナー

## 【行事予定 1月～3月】

**1月25日(日) 障害者とボランティアの**

**ふれあい行事**

**1月31日(土) かしの木懇親会**

**グリーンフラザ**

**2月25日(水)～26日(木)**

**松坂屋福祉の店**

**2月8日(日) かしのき音楽会**

**グリーンフラザ**

**3月1日(日) ボランティア連絡会**

## ☆ ボランティアさん募集

毎月のレクリエーション等の行事と一緒に楽しみたい方！作業と一緒に手伝ってくださる方！何でも結構です。先ずはご連絡ください

檜の木福祉会

かしの木の里 担当 武田、

檜の木園 担当 伊藤 まで

檜の木作業所 担当 山本

## 自主製品 販売中

檜の木園 ふらっとで、コーヒ販売

檜の木作業所 お掃除シート・ワイパー

お花販売

かしの木の里 ビーズ、革、とんぼ玉、陶

芸、5本指靴下、手芸、押

し花、木工、石鹸など

お近くにお越しの際は、是非、お立ち寄りご覧ください。

## 地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

### かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel 0586-63-2111

かしの木の里内 Fax 0586-61-1200

#### 檜の木福祉会

☆檜の木作業所 一宮市富田字漆畑 16 番地 Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514

☆檜の木園 一宮市富田字若宮 17 番地 Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253

☆ステップ 一宮市明地字上平 35 番地の 1 Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241

☆かしの木の里 一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200

☆ふらっと 一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8 Tel 0586-67-5070

☆グループホーム支援センターはぎわら

☆みずきの家 一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3 Tel 0586-67-1787

☆こぶしの家 一宮市開明西石亀 43 番地 5 Tel 0586-44-3972

☆あおきの家 一宮市萩原町串作字女郎花 1580 番地 1 Tel 0586-69-8881